

作成日：2023年7月27日

～下記の研究をおこないます～

『傍矢状静脈嚢胞様構造物の存在とミニメンタルステート検査点数の関係』

【研究の目的】

脳の老廃物排泄機構には脳脊髄液が大きな役割を担っていると考えられています。最近の研究では、脳の静脈を取り巻く袋状の構造物が発見されました。これは、脳老廃物排泄経路の障害や狭窄がある場合に形成されるのではないかと考えられています。ところが、この構造物の存在の有無と認知機能の関係はまだ調べられていません。今回、私たちはMRIを使って、袋状の構造物の存在と認知機能（MMSE）の関係を調べます。この結果によって、新しい認知症の指標を提案することができるかもしれません。

【研究の期間】

実施承認日～2025年3月31日

【研究の方法】

●対象となる患者さん

2021年02月01日から2023年03月31日までの間に、総合上飯田第一病院 老年精神科にて認知症の評価目的で頭部MRIを受けられた患者さん

●研究に用いる試料・情報の種類

試料：なし

情報：性別・診断名・MRI画像・MRI画像読影結果

●外部への試料・情報の提供

なし

【研究組織】

社会医療法人愛生会 総合上飯田第一病院

◎本研究に関するご質問等がありましたら、下記の連絡先までお問い合わせください。

◎ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することができますのでお申し出ください。

◎情報等が当研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には、研究対象としませんので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも、患者さんには不利益が生じることはありません。

研究責任者

社会医療法人愛生会総合上飯田第一病院

〒462-0802 愛知県名古屋市北区上飯田北町2-70

TEL 052-991-3111 (代)

お問い合わせ先 庶務課